

(学年) 第 1 学年, (教科・科目) 数学・数学 I

一斉学習

(単元) データの分析

(本時のねらい)

- ・四分位数や四分位範囲の定義を理解し、それを求めることができるようにする。
- ・箱ひげ図の書き方を理解し、箱ひげ図をかくことにより、データを視覚的に把握することができるようにする。
- ・1つのデータに対して四分位数や箱ひげ図を求めることで、そのデータの特徴等を把握し、どのようなデータなのかを分析することができるようにする。

(ICT 活用方法)

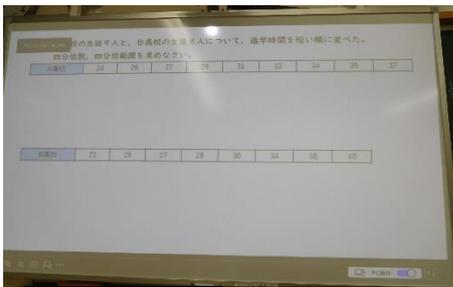
まず前時の振り返りをするために電子黒板に前時の内容を映す。次に、四分位数についての説明をするため、例題を電子黒板に映す。従来は、例題や求め方を全て黒板に板書していたが、要点を拡大して見せることで、教科書にある余計な情報を与えずに集中させる。また、四分位数や四分位範囲の求め方は生徒が常時確認できるように、黒板にも提示して残していく。

(本時の展開)

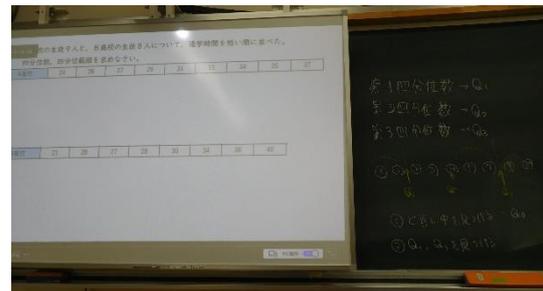
時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法	備考
導入 5分	・複数のデータを同時に比較するのは、既習の方法では比較しづらいことを確認する。	・比較する集団を複数提示し、度数分布表やヒストグラム以外の方法で比較する必要性を理解させる。	・複数のデータの度数分布表とヒストグラムを電子黒板に映す。	
展開 30分	・四分位数の求め方を理解する。  ・箱ひげ図の作り方を理解し、箱ひげ図から読み取れることを考える。	・データの個数によって四分位数の求め方が異なることを確認する。  ・5数要約を箱ひげ図で表すと、複数のデータの散らばりの様子が比較しやすくなることを確認する。	・例題のデータを電子黒板に映す。  ・箱ひげ図を書くためのグラフを電子黒板に映す。	四分位数の求め方等は生徒が常時確認できるように黒板にも残す。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ひげ図に関する問題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>類題に取り組むことで理解を深めさせる。</li> </ul>		
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習の振り返りをし、今後の学習への見通しを持つ。</li> </ul>			

(授業の様子)



教材投影方法



板書とICT

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

電子黒板を活用して授業を行うことで問題文を書き写す時間の短縮ができ、その分机間巡視の時間に充てることができるようになった。また、問題を電子黒板に映すことにより、四分位数についての例題を多く示すことができ、生徒の発言の機会が増え、箱ひげ図にもスムーズにつなげることができた。

今回の授業では、問題文を電子黒板に提示して活用することが主であったため、今後は生徒の考えを広げる道具の一つとしても活用できるようにする。